

BENEFIT JAPAN

**2023年3月期 第1四半期決算説明資料
(2022年4月1日～2022年6月30日)**

株式会社ベネフィットジャパン

(証券コード：3934)

2023年3月期第1四半期決算ハイライト

1

売上高は過去最高の3,075百万円（前年同期比+9.1%）

2

保有契約回線数は過去最高の218,100回線超（前年同月比+20.7%）

3

販売コストが増加し経常利益は前年同期と比べ減少

連結損益計算書

- 回線数増、ロボット事業の売上高増等により、連結売上高は前年同期比9.1%増
- 販売人員数を増やしポップアップストアを拡大したこと等の販売コスト増により、連結経常利益は同43.8%減
- 代理店の信用状態悪化に伴い、貸倒引当金繰入額を特別損失（85百万円）として計上

(百万円)

	22年3月期 第1四半期		23年3月期 第1四半期			
	金額	構成比	金額	構成比	前年同期 比増減率	前年同期 比増減額
売上高	2,818	100.0%	3,075	100.0%	+9.1%	+257
売上原価	1,239	44.0%	1,371	44.6%	+10.7%	+132
売上総利益	1,578	56.0%	1,704	55.4%	+8.0%	+126
販管費	1,230	43.6%	1,508	49.0%	+22.6%	+278
営業利益	348	12.4%	196	6.4%	△43.7%	△152
経常利益	350	12.4%	196	6.4%	△43.8%	△154
親会社株主に帰属する 四半期純利益	231	8.2%	62	2.0%	△73.1%	△169

セグメント別業績

(百万円)

	22年3月期 第1四半期	23年3月期 第1四半期	前年同期比 増減率	前年同期比 増減額
売上高	2,818.4	3,075.8	+9.1%	+257.4
モバイルWi-Fi	2,261.2	2,376.2	+5.1%	+114.9
ロボット	416.2	616.1	+48.0%	+199.9
その他	140.9	83.4	△40.8%	△57.5
営業利益	348.5	196.3	△43.7%	△152.2
モバイルWi-Fi	518.6	526.4	+1.5%	+7.8
ロボット	△90.1	△ 239.5	△165.7%	△149.4
その他	26.6	21.7	△18.4%	△4.9
全社費用	△106.6	△ 112.2	△5.3%	△5.6

セグメント別売上高増減分析

●モバイルWi-Fi事業

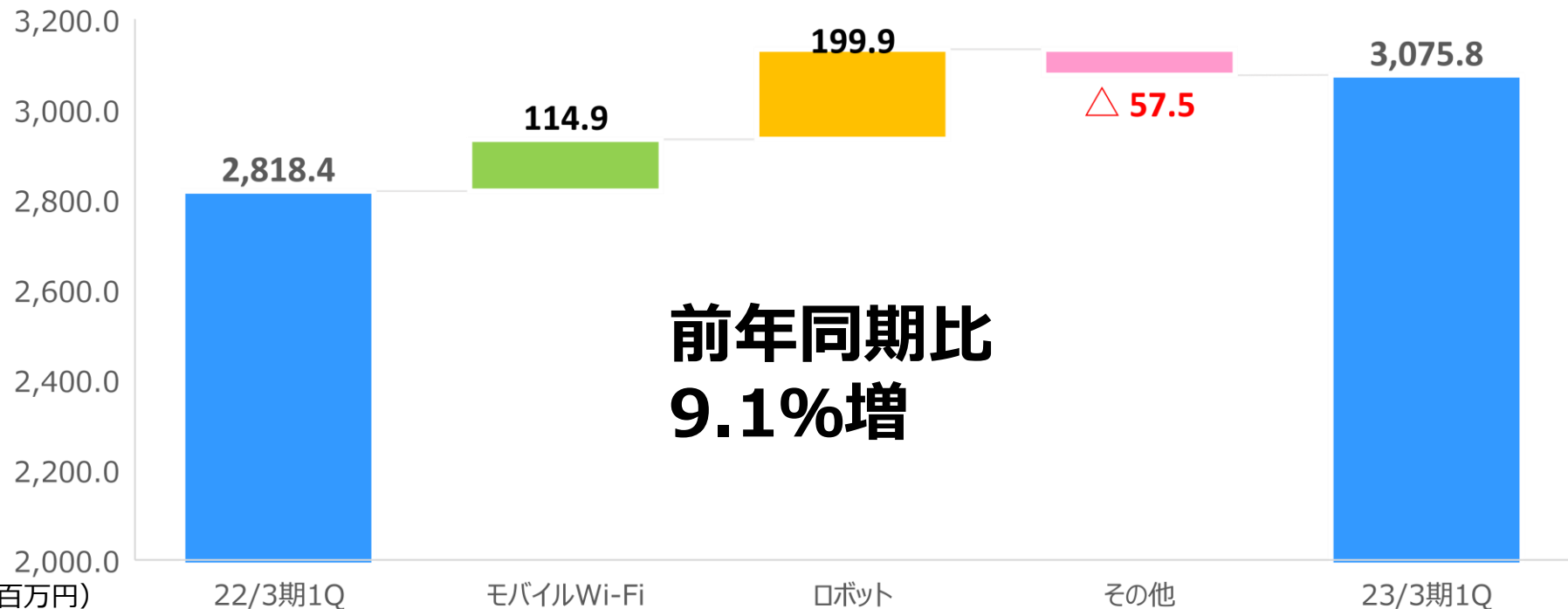
MVNE回線数増等により保有件数増に伴うストック売上高が増加したが、販売人員をロボット事業に振り向けたことや代理店に対するモバイルルーターの端末販売の減少等により売上高の増加は限定的

※保有件数増に伴うストック売上高増（+144百万円）、レンタル利用増に伴う売上高増（+26百万円）、端末販売等の売上高減（△56百万円）

●ロボット事業

販売人員数を増やしポップアップストアを拡大したこと等によりロボット端末の売上高増

※保有件数増に伴うストック売上高増（+50百万円）、端末販売等の売上高増（+149百万円）



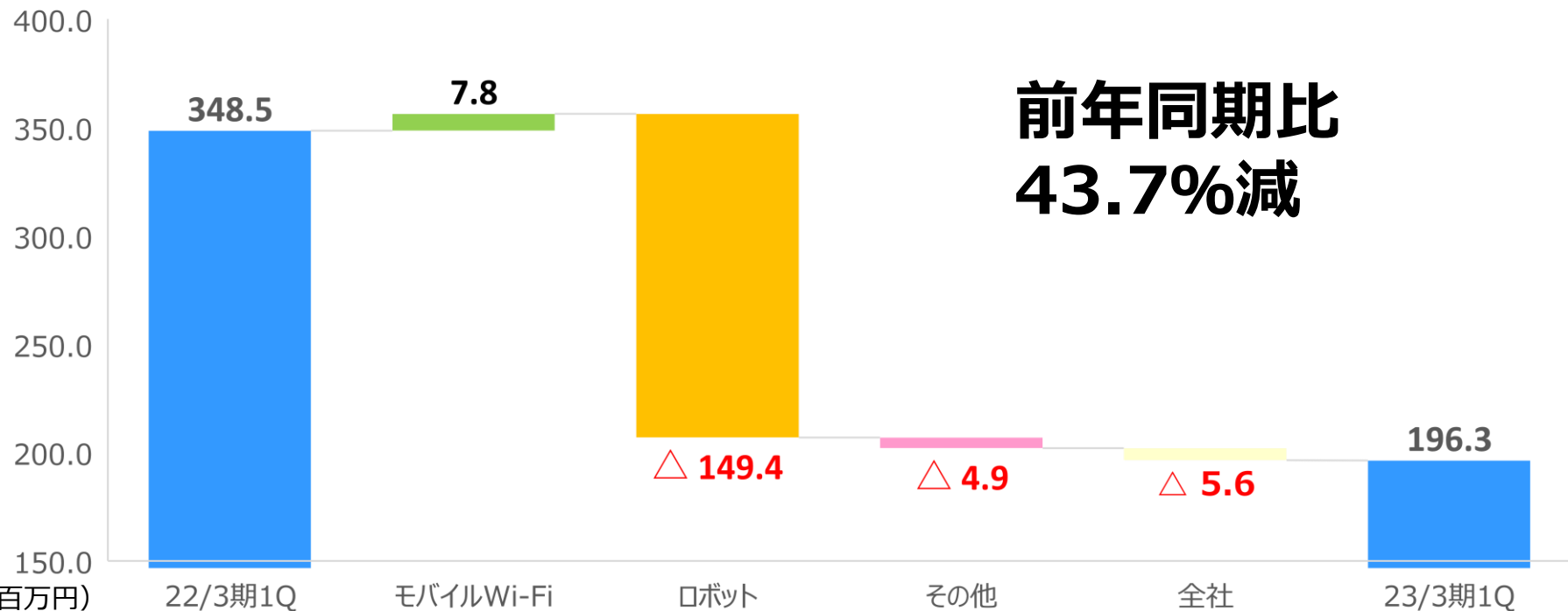
セグメント別営業利益増減分析

- モバイルWi-Fi事業

回線数は増加したものの、大型優良店舗や遠方店舗での稼働が増えたことで販売コストが増加し、増益要因としての寄与は限定的

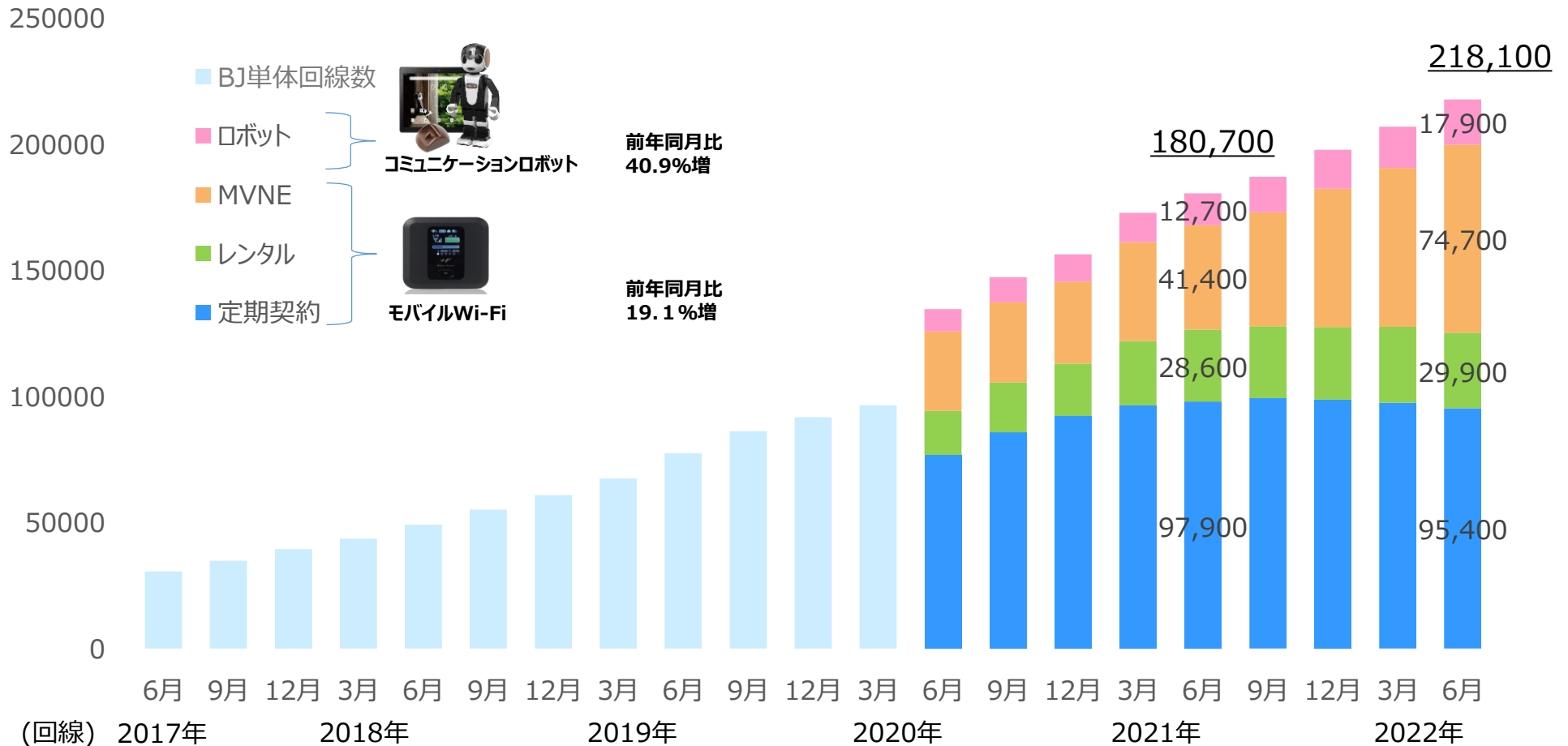
- ロボット事業

販売人員数を増やしポップアップストアを拡大したこと等の販売コスト増により減益要因に



回線数の推移

● 回線数はMVNEが大幅に伸ばしたこと等により前年同月比20.7%増



※ 2020年3月までは、ベネフィットジャパン単体の回線数
 2020年6月以降は、ベネフィットジャパングループの回線数（区分）

23年3月期の連結業績予想に対する進捗

- 通期計画に対する連結売上高の進捗は、ロボット事業において新卒社員の生産性が想定より低かったことや優良売り場の確保ができなかったこと等から21.2%にとどまる
- 通期計画に対する連結経常利益の進捗は、ロボット事業において販売人員増及び家電量販店との提携に伴う販売促進コスト等の増加要因により低水準にとどまる

現在、家電量販店での販売拡大及びウェブ広告を活用した来店予約の促進等により売上高及び利益の進捗率の改善を図っている

(百万円)

	23年3月期		
	通期計画	第1四半期	進捗率
売上高	14,515	3,075	21.2%
営業利益	1,709	196	11.5%
経常利益	1,707	196	11.5%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	1,127	62	5.5%

“Connecting to the Future” (未来へ繋ぐ)

すべての人々にテクノロジーの恩恵を

Benefit of Technology to All People!

笑顔でつなぐ、

みんなの未来

BENEFIT JAPAN